

QUESTORY'S MESSAGE

ブランドのファンづくりの技を学ぶ………ブログ②

注目を集めるブログの書き方



「ブログ」を躊躇する“三ない”

“ブランドのファンづくりの技を学ぶ”の第2テーマとして、前回から「ブログ」を取り上げています。今回はその2回目です。「ブログ」を立ち上げて、何を書いたらいいのか、どう書いたらいいのかと悩まれる方が少なくありません。2007年4月から「ブログ」を始めた僕自身もそうでしたし、正直いまでも書くことがないなあと思う時がたびたびあります。

そんな時に思い出すのが、僕の師匠である久米繊維工業の久米信行社長の教えです。久米社長は自身の「ブログ」を通じて、“社長のためのブログ道”を説いています。僕もこの“ブログ道”を読んで勉強しました。また、昨年2月に開催しましたブランディング実践塾では「ブログ」の活用について、実にわかりやすいご講演をいただきました。

久米社長も指摘していますが、「ブログ」を躊躇する理由のトップ3は“書く内容がない”、“文才がない”、“時間がない”の“三ない”です。でもこれは始めてから悩むこと、まずは始めてみることです。詳しくは久米社長の「ブログ」をご覧くださいればと思いますが、久米社長から教えていただいたたくさんの中から、とくに参考になった点をご紹介します。

「ブログ」で書く3つのこと

“書く内容がない”これってすごくよくわかります。久米さんは、書く内容について次の3つのこと挙げています。ひとつは、“仕事のこと”です。僕も仕事の内容は結構書きます。個別のコンサルティングについては書けないことが多いので、弊社主催のセミナーや研究会のこと、自分自身が参加した勉強会のことなどを書くことが少なくありません。

ふたつ目は、“仕事(あるいはプライベートも含めて)を通じて出会った人のこと”です。最近も、取材でお会いしたジュエリーデザイナー、弊社が支援しているカメオ作家アニエッロ・ペルニーチェさんのことなどを書いています。“「ブログ」に書かせていただきます、あるいは書かせていただきました”とお伝えすると、とても喜ばれてご縁が深まります。

3つ目は“自分の趣味のこと”です。僕の場合は、映画やジャズ、食べ物のことなどを書いています。趣味は仕事とは違った自分の一面を紹介するのに効果的です。「ブログ」に書いてあった映画を観ましたということで話題が盛り上がったことが何度もあります。まあ、気負わずに、好きなことを感じたままに書くことではないでしょうか。

習慣にすることがポイント

次に“時間がない”ということですが、あまり気まじめに考える必要はありません。僕も始めたころは毎日更新しようと思いましたが、続けられませんでした。書けていないことがちょっとしたプレッシャーになり、ますます書かなくなってしまいます。いまでは、書きたくなった時、書きたいことがあった時に書けばいいぐらいに思っています。

それでも、月曜日、水曜日、金曜日の週3回は書こうとスケジュールに入れていますが、なかなか実行出来ていません。とくにTwitterを始めてからは「ブログ」が疎かになっています。仕事中はなかなか書けませんので、出来るだけ仕事が始める前に書くようにしています。時間はいつでも構わないのですが、習慣にすることがポイントだと思います。

“文才がない”これもよくわかります。確かに文章を書くことに抵抗がある方が多いようですが、「ブログ」には写真画像も掲載することが出来ます。文章を書かなくても、画像とちょっとしたコメントだけで素晴らしいブログになります。写真画像を掲載するためには、気になった時に、デジカメや携帯電話で撮影する習慣を作ることです。

「ブログ」は企業の広報活動です

「ブログ」にはプロフィールという項目があります。いろいろなブログを見ますとこのプロフィールが定かでないものが多いのですが、プロフィールは必ずしっかりと書くことをお勧めします。顔写真も載せた方がいいでしょう。誰が読み手かはわかりませんが、ブランディングにおける「ブログ」は一種の広報活動です。

「ブログ」を続ける目的の中で大きなことは、新しいお客様や取引先を探すことです。これまでご縁のなかった方が、検索エンジン経由で「ブログ」にたどり着き、交流が始まる場合があります。そのためにも、プロフィールや写真は重要です。また「ブログ」をホームページにリンクすることも忘れてはならないことです。

思うままに、自分自身の経験的なことを書きましたが、ブログは実に奥が深いコミュニケーションツールです。レスポンスがないと書く気がなくなることもあります。あきらめずに継続することが一番です。「ブログ」の奥深い世界については、ぜひ下記の久米社長のブログをお読みください。

●社長のためのブログ道

<http://board01.keikai.topblog.jp/>